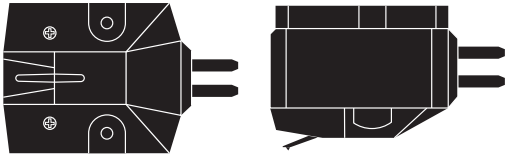


取扱説明書

MC型(デュアルムービングコイル)ステレオカートリッジ AT33Sa MC



お買い上げありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくご使用ください。
また保証書と一緒にいつでもすぐ読める場所に保管しておいてください。

特長

●シバタ針搭載MCカートリッジ

本製品はオーディオテクニカのMCカートリッジとして、初めてシバタ針を採用したモデルです。シバタ針はラインコンタクト針特有の優れた高域の再生能力に加えて、豊かで芯の強い中低域の再生を実現します。従来のAT33シリーズにも採用されてきたボロンカンチレバーにこのシバタ針を搭載し、これらの振動系を新たに吟味されたAT33シリーズ伝統の2重ダンパーで支持することにより、音質に磨きをかけています。

●改良型ボロンムクテーパーカンチレバーと振動系の軽量化

本製品では先端に向けて径が細くなるボロンムクテーパーカンチレバーを採用しています。テーパー加工による振動系先端部の軽量化と発電コイルのターン数見直しによる軽量化によりカートリッジの高域特性をより一層改善し、ワイドレンジな再生が可能となります。

●磁気エネルギーを飛躍的に高めたネオジウムマグネットとパーメンジュールヨーク

マグネットには、最大エネルギー積、BHmax:50[kJ/m³]のネオジウムマグネットを採用し、ヨークには高い飽和磁束密度を持つ、優れた磁性材料のパーメンジュールを採用して、コイルギャップ部の集中磁界をさらに強化しました。

●コイルにPCOCC採用

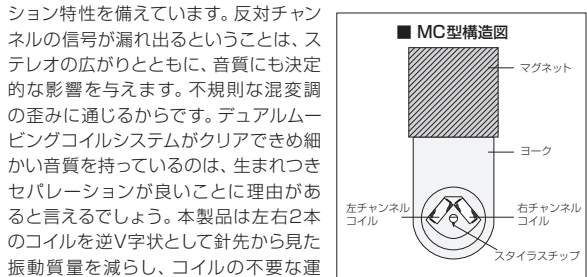
PCOCCは伝送方向に結晶粒界を生じないため、よりピュアな伝送を実現します。

PCOCC

PCOCC=Pure Copper by Ohno Continuous Casting process
(単結晶状高純度無酸素銅)

●高セパレーション、ワイドレスポンスのデュアルムービングコイル

基本構造は、左右チャンネルのそれぞれに円筒状コイルを配した独自のMC型。L、Rが独立して発電されるこの構造は、本質的に優れたセパレーション特性を備えています。反対チャンネルの信号が漏れ出るということは、ステレオの広がりとともに、音質にも決定的な影響を与えます。不規則な混変調の歪みに通じるからです。デュアルムービングコイルシステムがクリアできめ細かい音質を持っているのは、生まれつきセパレーションが良いことに理由があると云えるでしょう。本製品は左右2本のコイルを逆V字状として針先から見た振動質量を減らし、コイルの不要な運動を抑えて歪みをさらに抑えています。



●不要な振動を抑えるVCモールド

コイルを固定するVCモールドは高強度、高剛性化のためにチタン酸カリウムを配合した硬質合成樹脂材を採用しています。これにより本製品は従来よりも質量を低減し、不要な振動を抑えています。

●剛体化設計に徹した強靱なボディ

ハウジングは精密で堅牢なアルミ合金。その上下から硬質合成樹脂材で寄生共振を抑えこんだサンドイッチ構造となっています。これにより不要な振動を抑え、高剛性化とSN比の向上を図っています。



安全上の注意

本製品は安全性に十分な配慮をして設計をしていますが、使いかたを誤ると事故が起こることがあります。事故を未然に防ぐために下記の内容を必ずお守りください。

警告 この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性があります」を意味しています。

注意 この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う、または物的損害が発生する可能性があります」を意味しています。

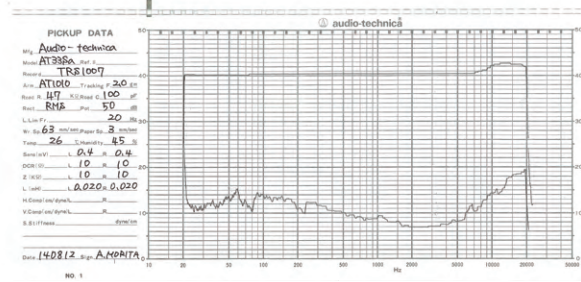
警告

●同梱のポリ袋は幼児の手の届く所や火のそばに置かない
●幼児の手の届く所に置かない
事故や火災の原因になります。

注意

●直射日光の当たる場所、暖房器具の近く、高温多湿やほこりの多い場所に置かない
●分解や改造はしない
故障の原因になります。
●強い衝撃を与えない
●振動系は指で触れない
故障の原因になります。

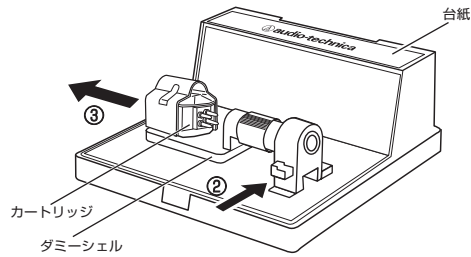
■周波数セパレーション特性



ケースからの取り外しかた

- ①上部の透明なケースを取り外します。
- ②オレンジ色のボタンを奥へ押し込み、ロックを解除してください。
- ③ダミーシェルの側面を持って、図の矢印の方向に引き抜きます。
- ④付属のマイナスドライバーを使用して、カートリッジをダミーシェルから取り外してください。その際、カートリッジの針先を痛めないよう充分ご注意ください。

※付属品は台紙の下部に収納されています。



注意

ケースでカートリッジを保管する場合、必ずプロテクターを装着してください。ダミーシェルまたはヘッドシェルを挿入後、オレンジ色のボタンを必ず手前に押して、ロックをかけてください。ロックをかけないと、カートリッジが脱落し破損の原因となります。

使いかた

※針部分は大変デリケートです。取り扱いには充分ご注意ください。

①ヘッドシェルに取り付けます。

下図のように振動系を痛めないよう、透明なプロテクターをかぶせたまま取り付けます。ビスは仮締めしておきます。

②出力端子の極性に注意してリードチップを接続します。

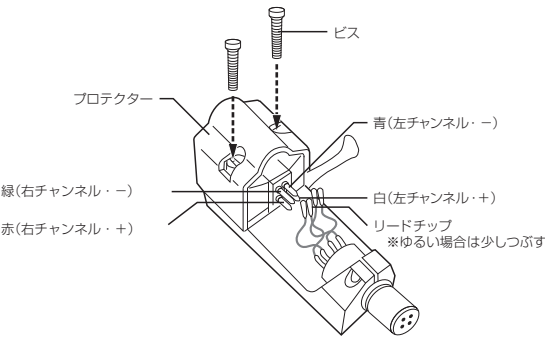
ユニバーサルアームのシェルリード線は、下図のように配列されています。カートリッジの出力端子へ、同じ色のリード線を接続します。リードチップがゆるいときは、少しつぶしてから行ってください。接続後、プロテクターを取り外します。

※出力端子にはハンダなどの熱を絶対に加えないでください。

※リード線は付属のPCOCC線をご使用になると最高のマッチングが得られます。



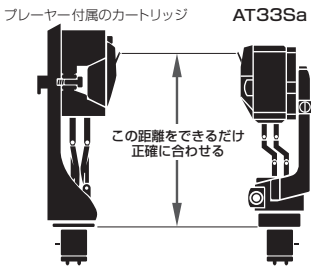
前から見たシェルリード線の配列(ユニバーサルアームの場合)



③カートリッジの取り付け位置を正確に決めます。(オーバーハングの調整)

アームまたはプレーヤーシステムの説明書に従ってオーバーハングの調整をします。不明な場合は、プレーヤーに最初から付いていたカートリッジの針先位置に合わせてください。(下図)

※誤差が大きいと音質が劣化しますので、できるだけ±1mm以内に揃えてください。



※調整後、ビスを左右均等になるように本締めします。

④針圧を調整します。

本製品の適正針圧は1.8~2.2gで、標準値は2.0gです。使用条件やお好みによって、適正値の範囲内で針圧を調整してご使用ください。

⑤アームの高さを調整します。

ヘッドシェルの底面とレコード面が横から見て平行になるように、高さを調整してください。アームの高さが適切でないと、カートリッジのボディがレコードに当たり、音質が劣化することがあります。※接続する機器によっては、アームの高さを調整できない機器もあります。

⑥アンプとの接続にはトランスかヘッドアンプ、もしくは単体フォノイコライザーが必要です。

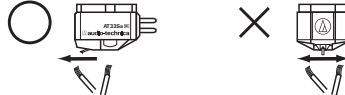
本製品の音質を活かすため、アンプにフォノ(Phono)入力(MCポジション)がある場合はそのまま使用することもできますが、昇圧トランス(別売)かヘッドアンプ、またはフォノイコライザー(別売)の使用をおすすめします。接続については、接続する機器の取扱説明書もご確認ください。

⑦針先をいつもきれいにしておいてください。

針先にごみや汚れが付着した場合は、付属のブラシできれいにしておいてください。汚れがひどい場合は、スタイラスクリーナー(別売)をおすすめします。根元から針先へ向かってブラシを動かしてクリーニングしてください。カートリッジをアームから外したときは忘れずにプロテクターを取り付け、アンプなどの熱源から離して保管してください。

針先クリーニングのしかた

ブラシは必ずレコードの進行方向に動かす。



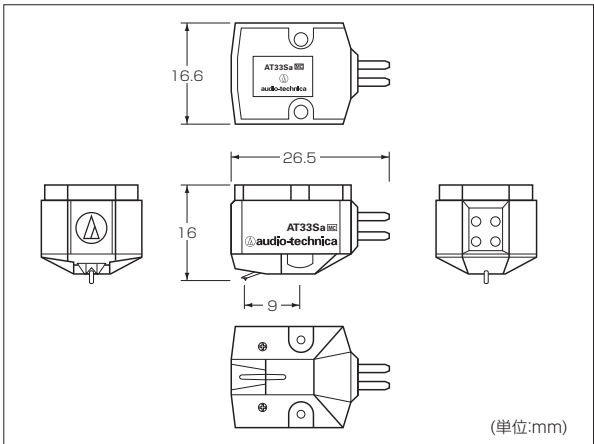
⑧針交換はカートリッジ全体をお取り換えします。

ご使用済みのカートリッジを販売店へお持ちください。本製品または当社販売中のMCカートリッジの中から、ご希望の機種を針交換価格でご提供させていただきます。なお、本製品の生産終了後については、販売中のMCカートリッジの中から針交換価格にてご提供させていただきます。あらかじめ、ご了承ください。

テクニカルデータ

型式	: MC型
再生周波数範囲	: 15~50,000Hz
出力電圧	: 0.4mV(1kHz, 5cm/sec.)
チャンネルセパレーション	: 30dB(1kHz)
出力バランス	: 0.5dB(1kHz)
針圧	: 1.8~2.2g(2.0g標準)
コイルインピーダンス	: 10Ω(1kHz)
直流抵抗	: 10Ω
負荷抵抗	: 100Ω以上(ヘッドアンプ接続時)
コイルインダクタンス	: 22μH(1kHz)
スタチックコンプライアンス	: 40×10 ⁻⁶ cm/dyne
ダイナミックコンプライアンス	: 10×10 ⁻⁶ cm/dyne(100Hz)
針先形状	: シバタ
カンチレバー	: ボロンムクテーパー
垂直トラッキング角	: 23°
外形寸法	: H16×W16.6×L26.5mm
質量	: 6.9g

●付属品: 非磁性体ドライバー×1、ワッシャー×2、プロテクター×1
カートリッジ取り付けビス 13mm×2、19mm×2
ナット×2、ブラシ×1、PCOCCリード線セット×1
(改良のため予告なく変更することがあります。)



(単位:mm)

アフターサービスについて

本製品をご家庭用として、取扱説明書や接続・注意書きに従ったご使用において故障した場合、保証書記載の期間・規定により無料修理をさせていただきます。修理ができない製品の場合は、交換させていただきます。お買い上げの際の領収書またはレシートなどは、保証開始日の確認のために保証書と共に大切に保管し、修理などの際は提示をお願いします。

お問い合わせ先(電話受付/平日9:00~17:30)
製品の仕様・使いかたや修理・部品のご相談は、お買い上げのお店または当社窓口およびホームページのサポートまでお願いします。
●お客様相談窓口(製品の仕様・使いかた) ☎0120-773-417
(携帯電話・PHSなどのご利用は 03-6746-0211)
FAX: 042-739-9120 Eメール: support@audio-technica.co.jp
●サービスセンター(修理・部品) ☎0120-887-416
(携帯電話・PHSなどのご利用は 03-6746-0212)
FAX: 042-739-9120 Eメール: servicecenter@audio-technica.co.jp
●ホームページ(サポート) www.audio-technica.co.jp/atj/support/

株式会社 オーディオテクニカ

〒194-8666 東京都町田市西成瀬2-46-1 http://www.audio-technica.co.jp
112300690